

美桑が丘

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校
令和7年度学校だより
第7号 R7. 10. 31発行

まだ、読書の秋??

校長 越 湖 憲 治

10.20CSファイナルステージでの日本ハムファイターズの敗戦で、私の中でのスポーツの秋は終了してしまいました。次は食欲の秋、文化の秋それとも読書の秋なのでしょうか。

北海道教育委員会から提示されているリーフレット「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える!」には、読書時間について“まずは1日10分以上”と記されています。一方で、先日の北海道新聞には“読書0分小中高生5割”という見出しがあり、現実を受け止めています。言うまでもなく、読書には①語彙力や読解力が身に付く、②集中力が養われる、③知識が増える、④想像力が豊かになる、⑤コミュニケーション力が高まる、⑥自己肯定感が高くなる、⑦気持ちが安定するなどの効果があるのですが、限られた時間を考えると、読書時間がスマホ時間に反比例するという記事にも納得がいくところです。

本校では、登校後の10分間を「読書の時間」として確保する中で、各々が興味・関心に応じた本を読み、自分自身と落ちていく向き合うことをねらいの一つとしています。私は、現在「スタンダップ ダブル!」(小路幸也 著)という中学生向けの図書を読んでいます。「読んでいます」とはとっても実は私、大の活字嫌いである大人になるまでほとんど本を読まない生活を送っていました。それでも今は寝る前に10分から30分、長いときには1時間程度、本に向かっていきます。そのきっかけは、朝読書で担任と一緒に本を読むということからでした。その当時は、泣く泣く野球関係者が著す本ばかりを選んで何とか時間を過ごす状態でした。それが今は、少しずつではありますが違う分野の本にも挑戦できるようになってきており、少し「この本読んでみたい」と視野が広がっています。

ふと考えると、小さい頃は「飛行機が好きだからパイロットになりたい」という考えが普通でした。まだまだ知識が浅く、飛行機を操縦するパイロットに注目しがちだったからです。先日、1年生の社会見学で旭川空港に行ってきました。ちょうど飛行機が着陸する場面に立ち会うことができました。もちろん操縦するのはパイロットですが、機内には客室乗務員がいて乗客の安全や快適さを支えています。飛行機が管制の指示に従って誘導されると、地上では整備士やスタッフが待機しており、安全を確認します。乗客が降りるためのブリッジや階段を設置する人、燃料を補給する人、荷物を降ろす人、機内を清掃する人など、多くの人が連携して動きます。そして、次の便の出発準備が始まります。実は飛行機は自力で後退できません。そこで「トローイングカー」と呼ばれる車両で、専任のスタッフが飛行機を押して前進できる位置まで移動させるのです。まさに「発見」です。

私たちは知らないことばかりです。だからこそ、学び続ける必要があると思っています。新たな知識を獲得する手段をスマホだけに偏るのではなく、選択できるようになってほしいと考えます。その一つに読書はなるのではないのでしょうか。

■後期認証式

10月1日(水)、後期生徒会役員(書記局5名・常任委員長4名)と後期学年役員・常任委員を認証しました。新役員を中心に全校生徒が協力し合いながら、主体的な取組を通して成長していく姿を、今後も温かく見守っていただけたらと思います。



着任しました!

10月1日から新しく特別支援教育支援員が着任しましたので紹介します。よろしくお願いします。

特別支援教育支援員
倉部 莉歩



深い学びの実現を図る総合的な学習の時間

■まちづくり学習(3年)

9月から「持続可能な下川のまちづくりについて、町長に提言しよう」という探究課題を設定し、まちづくり学習を進めています。この取組は、持続可能な社会の創り手として、よりよい地域社会の実現に向け、参画しようとする態度を育むために、地域学校協働コーディネーターの本間さん、NPO法人森の生活の麻生さん、田中さんと連携して実施に向けて準備を進めてきたものです。



9月17日(水)、下川町産業振興課から高橋風宇太さん、齊藤丈寛さんを講師にお招きし、本町の農業や林業の視点からの課題とその打開策について伺いました。①十分な人員を確保できないこと、②物価高騰が事業開拓の足かせになっていること、③近年の気象変動が影響していることなどを教わりました。

9月19日(金)、下川町観光協会から高松峰成さんをお招きし、協会の役割とその取組について伺いました。どうして各自治体は観光に力を入れるのか、その中で、協会主導のブランディング、商品開発、お祭りなどについて教わりました。観光のこれからとして、①文化の継承、②町民にも理解、応援されるものであること、③下川の空気感を正しく発信することが課題になってくると学ぶことができました。



9月24日(水)、下川町役場保健福祉課から高原義輝さんをお招きし、人口動態に関する本町の施策(増加増進・減少抑制)を伺いました。本町は後期高齢者の割合が他の自治体よりも多いことに関連して、①国民健康保険、②後期高齢者医療制度、③介護保険等によくのお金が必要となること、④「超高齢化社会」がさらに進んでいけばその負担額がとてつもない額になることなどを教わりました。

9月26日(金)、生徒たちが農業・林業・商業・社会福祉・医療・工業・人口・観光・公共施設・伝統芸能など、10のテーマから自身の関心に引かれたものを選び、学習をスタートさせました。これまでの講話を振り返りながら、各自で現状と課題を整理し、原因を考察しました。そして、「どのような理想の状態になればよいか」を自分の言葉で表現し、4人グループで意見を交流しました。①農業の後継者不足を解消したい、②高齢者が労働力として活躍できるようにしたい、③幼児をもっと預かる場所が増えればよい等、本町の未来を見据えた多様なアイデアが活発に交わされました。

10月7日(火)、生徒たちは自分のアイデアや考え、課題について、学年団の先生方をはじめ、「森の生活」の麻生さん・田中さん、地域学校協働コーディネーターの本間さんに直接伝えました。聞き手から「どうしてこれに興味をもったの?」「～さんがやることの意味ってどこにあると思う?」「このことに詳しい町の人ってどのような人?」次から次へと問われる質問に対し、これまでの学習を生かし3年生らしく回答する姿が見られました。こうしたやりとりから生徒が思考を深め、アイデア・意見を整理し、改善を図ります。



10月9日(木)、生徒一人ひとりが自分の探究課題を決定し、活動の見通しを立てる「ロードマップ」を作成しました。自らの関心や地域の課題に向き合いながら、いよいよ本格的な探究活動が始まりました。

そして、約8時間にわたる探究活動を経て、10月29日(水)には、小グループで進捗状況を共有し、互いに意見やアドバイスを交わす中間発表を行いました。他者の視点に触れることで、自分の課題への理解が深まり、今後の活動への意欲も高まる貴重な機会となりました。

これから11月12日(水)の学年発表、11月25日(火)に公民館ホールで行われる全体発表会に向けて準備を進めていく予定です。

深い学びの実現を図る総合的な学習の時間

■職場体験(2年)

10月8日(月)、実際に働く現場で見聞や体験すること等を通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力や態度を育成することを目的に職場体験を実施しました。この取組は、下川町内の事業所、地域で働く方々、地域学校連携コーディネーターの本間さんと連携を密に図りながら、生徒たちが働くことに対する意義や理解を深め、自分の将来の進路選択や決定に活かせるよう実施に向けて準備を進めてきました。

生徒たちは、今回の体験やインタビューを通して学んだことを模造紙でまとめ、11月12日(水)に下川商業高校で行われる中高合同キャリア発表会で発表する予定です。



ご協力いただいた事業所(敬称略・順不同)

- こどものもり ●戸田建設 ●谷組 ●あけぼの園
- 観光協会・しもかわ財団 ●下川町立病院
- 下川郵便局 ●セイコーマート ●カカラ

貴重な機会をありがとうございました。

■社会見学(1年)

10月10日(金)、まず旭川市にある ICT パークを見学しました。ここでは、事前に調査した高度情報化社会における先端技術の代表的なものの1つである e スポーツやICTによる働き方の変化など、最先端技術を活用して生活を豊かにしたり、便利にしたりする取組を学ぶことができました。



次に旭川空港に行きました。ここでは、「旅客業務」「ステーション業務」「貨物・機側搭載機・整備業務」と3つのグループに分かれて見学しました。職員の方の講話やインタビューを通して、職員の役割や工夫、企業努力等について学びました。

生徒たちは今回の学びを振り返り、今後の学校生活や将来の進路にどのように活かしていくかを、自分自身と向き合いながら真剣に考えています。



下川中学校の総合的な学習の時間では、各学年の教職員による綿密な準備と地域の方々のご理解・ご協力に支えられて、生徒たちの深い学びの実現を図っています。

本物の舞台芸術に触れる機会

■芸術鑑賞会

10月7日(火)、株式会社影向舎と、一般社団法人三宅狂言会の皆さんをお迎えし、全校生徒で狂言の鑑賞会を行いました。狂言は、約 600 年前の室町時代から続く日本の伝統芸能で、言葉のやり取りや動きの面白さを通して、人間の心の機微やユーモアを描くお芝居です。

今回、上演された演目は、狂言の中でも特に人気のある『附子』で、主人の留守中に「絶対に開けてはいけない」と言われた壺の中身をめぐって、家来たちが繰り広げるユーモラスなやり取りに、会場は笑いに包まれました。また、演目の上演前に狂言の解説やワークショップ(体験活動)もあり、初めて見る生徒にも親しみやすい内容でした。

生徒たちは古典芸能の魅力を存分に味わい、本物の舞台にふれることで文化への関心や表現することの楽しさを感じる貴重な体験となりました。



■後期生徒総会

10月16日(木)、本校体育館にて後期生徒総会が開催されました。これは、全校生徒が後期生徒会活動の見通しをもち、より良い学校生活を自分たちの手で作り上げていくことが目的です。生徒会書記局、各常任委員会の委員長から前期の活動報告と後期の活動計画について提案されました。それに対して、各学年から52本もの質問・意見が出され、活発な議論となりました。また、今回の総会は、下川町社会福祉協議会の橋本さんが本校の生徒会活動を知るために参観されました。

今回の生徒総会は、「自分たちの学校を自分たちでつくる」という意識を育む貴重な機会となりました。今後も、生徒の主体的な活動を支援しながら、より良い学校づくりを目指してまいります。



■吹奏楽部定期演奏会

10月26日(日)に本校体育館にて、3年生にとっては最後の活動となる定期演奏会を開催しました。今回は、名寄吹奏楽団、土別吹奏楽団、本校 OB・OG の皆さんとの合同ステージもあり、会場の皆さんが楽しめる全力の演奏をすることができました。お越しいただいた皆様、ありがとうございました。



11月の予定

- 4日(火) 全校朝会、安全点検日、常任委員会
- 5日(水) テスト前学習会(3年)
- 6日(木) 3年学力テスト、テスト前学習会(3年)
- 7日(金) テスト前学習会(3年)
- 10日(月) 2学期末テスト(3年)
- 11日(火) 2学期末テスト(3年)
- 14日(金) 下川町教育研究大会
- 17日(月) 職員会議
- 18日(火) 常任委員会
- 20日(木) 三者面談(~27日)
- 25日(火) 諸費納入日